

東堂陽一 (親和会)
議会便り 第23号 (2-16)

平成 21年 1月 1日発行

今号の内容

1. 新病院建設協議まとまる
2. 私の一般質問(12月)
3. 市長答弁より
4. 写真で見る最近の話題

今回の私の一般質問です。

(通告要旨)

1. 来年度予算について
 - (1) 景気後退局面下での予算編成に対する基本的態度を伺う
 - (2) 施策的にはどのような特徴を持たせるのか
 - (3) 税金をどのようにみているか。また、一般会計をはじめとする各種予算編成への影響はどうか
 - (4) 行政報告で景気対策への決意を述べている。対策をどのように考えているか
2. 行政改革への取組状況について
 - (1) 事務事業の合理化の状況を具体的に伺う
 - (2) 補助金の見直し状況はどのようになっているか
3. 料金体系の不均衡について
 - (1) 幼稚園保育料の公私格差の検討はどのようになっているか
 - (2) 下水道整備手法の違いによって使用料に差が現れた。公平性をどう確保するか
4. 安心・安全なまちづくりについて
 - (1) 交通死亡事故等に対する対策をどうするか
 - (2) 新型インフルエンザへの対応はどのように進めるのか
5. 新病院建設について
 - (1) 基本構想が固まった今、財政計画をどのように考えるか
 - (2) 今後の組織はどうするか
6. 掛川駅北口駅舎の耐震化工事について
 - (1) 景観に対する議論はなされたか
 - (2) 特徴ある外観を残す努力をすべきではないか

掛川市・袋井市新病院建設協議まとまる

昨年の12月26日に始まった「掛川市・袋井市新病院建設協議会」は計11回の会合を重ね、12月17日両市長に基本構想を答申しました。今後は平成24年度末予定のオープン目指して、建設に関わる作業が進められます。

もともと医師不足対策に始まった検討がここまで発展してきました。基本構想の協議はまとまりましたが、詰めの協議はこれからで、新病院建設はやっとスタートラインにたどり着いたところと言えます。全国初の、異なる自治体の市立病院の統合という大事業が始まります。

取り組むべき課題も多く、市民の安心できる病院建設のための作業は、これからが正念場です。



掛川市立総合病院(12月21日)



袋井市民病院(12月21日)

(基本構想の要旨です)

1. 将来像 二次医療、救急に特化する。
循環器系疾患・悪性新生物に対する機能強化、
小児医療・周産期医療の充実など。
2. 規模 病床数 500床程度
3. 建設場所 掛川市下俣・長谷地内(菖蒲ヶ池ゴルフ場付近)
4. 経営形態 開院時は、一部事務組合の地方公営企業法全部適用、
開院後、直ちに将来的な経営形態等について検討を始める。
5. 建設時期 平成24年度末までの開院を目指す。



本会議風景

(市長答弁より)

1. 感想

市長(当局担当者の答弁も含む)の一回目の答弁は一時間に及ぶ丁寧なものでしたが、中身はすでに報告されていることが大半でした。私としてはその中から問題点を指摘し、掛川市としてどう対応していくかを質問している訳です。市長の答弁はいつものことながら「課題に対してこうする、こうしたい。」という肝心な部分が足りません。再質問でまず最初に、このことをただしましたが、残念ながら見当違いの回答が返ってきました。一般質問はこれからを議論する場であって、これまでの報告に終わってしまってはならない、ということを再度申し上げたいと思います。

2. 来年度予算

本年度当初予算から、法人市民税は14%、市民税全体では5%、5億円の減。その他固定資産税、都市計画税、たばこ税の減少も見込まれ、市税全体では4%、9億円の減少が見込まれるということでした。掛川市は特定の業種に偏っていない、あるいは本社のある大企業は少ないので、比較的影響は少ないということでした。来年度予算に対する方針は「慎重に」としか発言がなかったのですが、このことについて、さらに具体的に再質問を致しましたが、明確な回答はありませんでした。

3. 景気対策

行政報告では「市として必要なことがあれば万全を期する」としていましたが、「新年に自分の足で実情調査をしたい。県や国と協調していきたい。」と述べるにとどまり、市独自の対策には消極的でした。

4. 新型インフルエンザ

情報の収集体制や行動計画作成について質問いたしました。「知識のワクチン」という言葉を資料調べの中で見つけましたが、市レベルでの対策としては重要なことだと思いました。



掛川駅北口駅舎(12月21日)

5. 掛川駅北口駅舎の建て替え

二年ほど前にすでに問題提起してあったのですが、十分な議論がされていなかった。貴重な木造駅舎であり、個人的には現状の外観を残すべきだと思います。JR側が理解を示せば議会の意見を尊重し、一年延期してでも最善の策を議論し、結論を出したいという回答を得ました。

6. 再び感想

少し突っ込んだ質問になるとしっかりと答えず、自分の事を棚に上げて言うのも何ですが、勉強不足ではないかと感じました。また、北口駅舎の発言の中で、「JRが予定通りRC造りでやるといえば断れない。」「議会が木造でやれというなら、そのとおりに伝える。」など主体性不足の発言も気になります。

写真でみる最近の話題



三十川屋台落成記念式典
(公会堂、10月4日)



全国報徳サミット掛川市大会
(生涯学習センター、10月26日)
石川県知事のご祝辞



商工まつり(11月1日)
賑わう駅通り



かけがわ教育の日
(生涯学習センター、11月23日)
「世界一短いメッセージ」の表彰式



桜木まつり(桜木小、11月30日)
もち投げ終了後の風景



交通安全市民大会
(生涯学習センター、12月3日)
母親代表による交通安全宣言

勝手に選んだ20年の重大ニュース

昨年の市政上の出来事を振り返り、選んで見ました。
皆さんの順番付けはいかかでしょうか

1. 掛川市立病院と袋井市民病院の統合協議まとまる(12月)



閉会式の模様(12月17日)。
ドラマ館の入場者数は約30万7,000人。
テレビの平均視聴率は20.9%で4年ぶり
の20%越え。

2. ゴミ減量・マイバック運動の環境施策が評価され環境大臣表彰を受章(3月)
 3. 議員定数を6人減らし、新定数を24人に定める(7月)
 4. 大須賀支所・市民交流センターが新設オープン(4月)
 5. 「総合福祉センターが」が旧東高跡地にオープン(10月)
- 順位外、伊藤和也さんがアフガニスタンで拉致・殺害される(8月)

